



工業的大規模農業から 小規模・家族農業へ

農業の家族経営体 ●2010年頃から 高知県は97%

間では、工業的大規模農業が社会や環境にもたらす弊害、農場外資源に依存する経済的不安定性が指摘され、小規模・家族農業を積極的に支援する農政へと舵を切っています。EUでは、SDGsや2050年の脱炭素化という国際的アジェンダと歩調を合わせて、今まで以上に生態系と調和した農業・食料システムへの転換が加速化されています。小規模・家族農業は、単収は高く、温室効果ガスの排出削減、炭素貯留、雇用創出、過疎化

の抑制等の効果も確認され、気候危機と新型コロナ感染症を受けて、過去30年余りにわたって支配的であった新自由主義的価値観が大きく見直されつつあります。

今、世界の食料生産額の8割以上を占めるのが家族農業であり、食料の安全保障という点に加え、貧困の撲滅、飢餓の解消、生物多様性の保全、環境の持続可能性の達成など、様々な面から、重要な役割を担っています。

●本県農業に占める家族経営体の割合は約97%。家族経営体の経営維持、発展を図ることが、本県農業の持続的な発展、

中山間地域活性化には不可欠です。読者の皆様のご参加をお願いいたします。

松本けんじさんを囲んで

農業と地域の明日を語り合うつどい



生産者のみなさん、消費者のみなさん、こんにちは。
ロシアのウクライナ侵略が続く中、物価高が暮らしを直撃、さらに食料の安全保障も大きな焦点になっています。命の礎＝農林漁業の大切さを実感する毎日。どうやって自給率をあげるか、どうやって日本の平和を守るか、衰退を余儀なくされている農林漁業の発展の道はどこにあるか、ごいっしょに考えませんか。

○とき 5月28日(土) 13時30分～15時30分
○場所 高知民商會館3階 (高知市河ノ瀬町33 088-833-0666)

*田村貴昭衆議院議員(農林水産委員)が、党の農林漁業政策、食糧安全保障、国会での党議員団の役割、など語ります。
*松本治治さん(党徳島高知国政対策委員長)があいさつします。
みなさんの実態、苦勞、ご要望などお聞かせください。

主催 日本共産党高知県農林漁業後援会(準備会) 連絡先 中越吉正 (090-3181-6903)、日本共産党高知県委員会 (088-824-1155)



衆議院議員
日本共産党・農林水産部会長
田村たかあき



日本共産党
徳島高知国政対策委員長
松本けんじ



5月12日、関勉先生が高知県名誉県民として顕彰されました。関先生受章までの名誉県民は漫画家のやなせたかしさん、日本画家の奥谷博さんお二人だけです。会場では関先生と令夫人興子様に心よりお祝い申し上げます。本当にありがとうございました。どうぞい



★高知が世界に誇る天文家
関勉氏に名誉県民顕彰
5月12日、関勉先生が高知県名誉県民として顕彰されました。関先生受章までの名誉県民は漫画家のやなせたかしさん、日本画家の奥谷博さんお二人だけです。会場では関先生と令夫人興子様に心よりお祝い申し上げます。本当にありがとうございました。どうぞい